

第2号様式（第3関係）

第1回豊山町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議議事録

1 開催日時

平成27年11月17日（火）午前10時から午前11時まで

2 開催場所

会議室3・4

3 出席者

（1） 委員

高橋 真委員（愛知学泉大学現代マネジメント学部教授）

小寺洋夫委員（名古屋空港ビルディング株式会社代表取締役社長）

糟谷芳澄委員（三菱東京UFJ銀行小牧支店長）

野島伸司委員（スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社取締役技術戦略
本部長）

（代理 中納久史スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社技術戦略本部
技術部ソリューション営業課長）

船橋和志委員（株式会社小牧サービス代表取締役）

中山 拓委員（学校法人豊山学園 園長）

（2） 欠席者

奥本哲巳委員（三菱重工労働組合名古屋航空宇宙システム製作所支部副委員長）

櫛田和裕委員（尾張中央農業協同組合豊場支店長）

小島有里委員（豊山町まちづくりサポーター）

（3） 事務局

理事 竹澤功

総務部長 安藤光男

総務課長 小川徹也

総務課企画財政・情報係長 井上武

総務課企画財政・情報係主査 牧野礼男

4 議題

（1） まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- (2) 豊山町人口ビジョン（案）について
- (3) 豊山町総合戦略の基本的方向性について

5 会議資料

- 資料1 まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 資料2 豊山町人口ビジョン案
- 資料3 総合戦略の目標達成に資する、総合計画に掲げる施策
- 追加資料 豊山町総合戦略の基本的方向性について
- 参考資料 豊山町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱
- 豊山町第4次総合計画後期基本計画

6 議事内容

(1) 副町長挨拶

委員をお引き受けいただき感謝している。昨年12月制定のまち・ひと・しごと創生法に基づき、地方版の戦略を町として策定するためこの会議をもうけた。町の状況として、平成17年の中部空港開港の影響により1万3千人を割り込んだ時期もあったものの、現在は人口1万5千人を超えるまでに伸びている。商業施設も、スーパーやドラッグストア、スポーツジムができるなど活況である。

MRJの初飛行の成功を、東京でも祝福を受けるなど町の認知度は増している。今まではイチロー選手だけだったが、これからはMRJも含めて豊山町の認知をさらに求めている。

総合戦略を定めるに当たり、昨年度策定した総合計画に基づきながら定めていきたいと思っているが、広く皆様のご意見を伺い、より良い計画にしていきたいのでよろしくお願いいたします。

(2) 委員長・副委員長選出

(3) 委員長挨拶

企業などと違って自治体が掲げる戦略はコンプライアンスだらけで、幅は少ないと思うが、豊山町にはいろんなアドバンテージがあると思う。それらを次の世代にどう活かしていけるかが、私達の使命と思っている。これからのご審議をよろしくお願いいたします。

(4) 議題

- ① まち・ひと・しごと創生総合戦略について

事務局：説明（資料１）

（質疑）

A委員：この会議では、具体的な施策を決めていくのか。

事務局：総合計画上の事業を再整理した案を提示する。それに追加していけるようなご意見をお願いしたい。

② 豊山町人口ビジョン（案）について

事務局：説明（資料２）

（質疑）

委員長：後でもお気づきの点があれば、ご意見をお願いしたい。

③ 豊山町総合戦略の基本的方向性について

事務局：説明（資料３）

（質疑）

委員長：女性の非正規雇用割合が全国平均に比べ高いことの理由や状況としてはどうか。

事務局：エアポートウォークなどの小売店などでのパート従業員が多いのではないかと認識している。

A委員：町で観光振興に関するイメージは今はない。名古屋空港のあることを前面に出して、例えば貨物の取扱拠点化し、運送輸送業者の誘致などを進めるといえるかどうか。教育、福祉の充実が産業があってこそだと思う。大きい企業だけでなく中小企業にも豊山町で事業をするメリットを発信して活性化を図る。これから高齢化に備え福祉の充実のために産業振興のイメージが大事である。名古屋空港を小牧空港と思われたいよう、豊山に多くがあることを意識してもらい、産業につなげていきたい。

また、農地の減少で、農業は衰退するイメージ。相続税が払えず売却して宅地化が進み、人口が増している。これから力を入れていく分野を明確にすべき。

事務局：人口予測、施策の方向性を先ほどお話し、意見を出しづらかったと思うが、今のような意見を求めている。基本方針を国が提示している。雇用創出、新しい人の流れ、子育て、豊かな暮らし・地域連携の４つ。それに基づいて総合計画を再整理したものを、説明した。国の方針を参照して、それに肉付けできる意見を求めている。

委員長：高山や下呂に向かう途中にあるのが「豊山町」のように引き止めることが

できれば、観光パッケージの見込みもあるのではないかな。資源は、天狗発祥の地など何かあると思う。現実的に考えられればよいと思う。

B委員： 北部市場、年に1、2回、中に入れるようだが、もっと周知させるべきと思う。北部市場を活用したイベントを考えるとよいのではないかな。北部市場の周り、なかなか食べる場所が少ない。飛騨、高山のこともあったが、食は重要だと思った。ここで食べていくということで足止めできればいいのだが。

C委員： 町の施設に関するニーズについて、公共交通機関の充実、歩道の整備とかあるのだが、イメージとして公共交通機関がもう少し充実するといいと思っている。MR Jを期に名古屋空港を宣伝して、公共交通の充実に展開するとよい。近隣だけでなく、遠くへのアクセスとしても必要である。

ICT関係、Wi-Fi環境整備の必要もある。固定の通信からモバイルに移行している、若い人へのアピールとしても重要ではないかな。

D委員： 小牧市で観光客増加に関して協議する会にも参加している。その議論の例として、小牧山城や名古屋コーチンを広めようとするが、そこまで話は止まってしまう。MR Jは今すごい発信力がある。豊山が中心になって、環境整備、事業を広めていく考え方も重要である。愛知県北で一丸となることも可能ではないかな。

また、追加資料1ページの流入超過と、公共交通の不満度を見ると、交通に関して空港関連で勤めている層には便利である一方、名古屋市通勤者には不便な目線があるのではないかな。対策としては、町外とのアクセス向上がポイントではないかなと思う。

委員長： 交通も含めて近隣と一緒にやる目線は大事だと思う。

D委員： MR Jは全国区なので、この強みは使うべきだろう。

委員長： 航空産業サミット開催なども考えられる。

E委員： 人口が減少すると行政サービスの低下となる一方、行政サービスがよくなれば流出・減少がとまるというのも視点のひとつ。

観光、産業、公共交通機関、道路整備、治安向上、住み良さにつながることやどこの自治体でも話題になることを全部やるのは難しい。栄、名古屋駅に出ることも大事だが、豊山町は何で生きていくのか、メリハリは必要になると思う。航空産業かもしれないが、今は大きな注目度だとしても、先まではどうだろうか。

委員長： 戦略をしっかりと立てる必要性の指摘である。例えばだが、名古屋空港の滑走路をつかって夜間にオーケストラをするとかどうか。何を特徴づけるかが

大事だろう。

事務局： 本日の意見を該当分野へ当てはめて、肉づけとしてまとめて、プランの具体化にしていきたい。

(5) その他

事務局： 今後の予定について、次回開催を12月中旬から1月中旬で調整する。3回目最終回を1月下旬から2月上旬で調整したい。